(別紙様式) 点検・評価 羅 達成度 方 策 達成状況のまとめ及び次年度の課題 学校関係者評価 自己評価 評価対象 評価項目 総合 具体的数值項目 履修ガイダンス及び履修相談の充実のため、研修等で職員の共適 「単位制の履修形態に満足している」と考える生 特色ある学校づ 特色ある教育活動を行って 徒・保護者が90%以上である。 くりに努めてい いますか。 ますか。 ②「自分の学校が好きである」と考える生徒・保護者が 生徒の修学目的が達成できるように、個に応じたサポートをす 80%以上である。 ③「授業が分かりやすい・適切である」と考える生 7月と12月に授業アンケートを実施し、生徒の実態に合った授業 2 生徒の実態に応じた指導を 徒・保護者が90%以上である。 Ⅱ 生徒の意欲的な を工夫する。 学習活動につい 行っていますか。 て適切な指導を していますか。 ④「学力が向上した」と考える生徒・保護者が70%以 主体的・対話的で深い学びの実現を目指して生徒理解に努めると 3 生徒は確かな学力を身に付 ともに、学習の過程を重視して、自主的・自発的な態度を育む授 けていますか。 5全教職員が、重点目標を踏まえた自己目標を設定 重点目標と学校評価一覧表を連結し、これらに基づいて自己申告 Ⅱ 生徒の充実した 4 組織的・継続的な指導を シェストリスプ し、教育活動に取り組んでいる。 書を作成する。 学校生活につい 行っていますか。 て適切な指導を していますか。 ⑥生徒に関する情報交換を月2回以上行う。 情報の共有化を図り、統一した指導体制をとる。 ⑦「交通マナー・交通ルールの遵守を意識している」 「フレックス通信」等で交通マナー・交通ルールの遵守を呼びか と考える生徒・保護者が100%である。 けるなどして、生徒の意識を高め、自己啓発を図る。 ⑧生徒の単位修得率が60%以上である。 学籍管理システムの有効利用を図り、指導に生かし、個々の生徒 こきめ細かな指導を行う。 オリエンテーションや集会、フレックス通信等において、いじめ 防止に係る方針等を生徒に周知するとともに、いじめの早期発見 を心がけ、認知した際は組織で対応し、早期解消に努める。 ⑨「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積 5 学校はいじめの防止や早期 極的に行っている」と認識している生徒が80%以上で発見に向けた取組を積極的 ある。 に行っていますか。 ①「携帯電話やフレックス通信でいつも学校の情報を スクーリング実施日に合わせてホームページを更新し、携帯電話 6 生徒は健康で、規則正しい 確認している」と考える生徒・保護者が90%以上であ 等で学校からの連絡が見られるようにする。 学校生活を送っています ⑪「学校生活が充実している」と感じている生徒・保護 安全・安心な学習環境を整え、学校行事等を精査して実施するこ 者が70%以上である。 こで学校生活の充実を図る。 ⑫「教育相談が充実している」と考える生徒・保護者が 管理職、教育相談係、スクールカウンセラー等が連携し、個々の 80%以上である。 生徒へ複数の教職員で支援を行う。 ⑬「進路指導が信頼できる」と考える生徒・保護者か 進路指導部、年次団、教科が連携して進路指導計画を立案し、系 生徒の主体的な 7 計画的な指導を行っていま 70%以上である。 統的な指導を行う。 進路選択につい て適切な指導を していますか。 ⑭進路情報を年4回以上発信する。 生徒や保護者に有用な情報を提供する。 ⑤「進路目標の実現に向けて努力している」と考える 個別面談等を充実させ、卒業年次生の進路目標の達成を支援す 8 生徒は自らの進路について 生徒・保護者が70%以上である。 真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。 6通信制だよりである「フレックス通信」を月2回以 保護者にも通信制の様子が伝わるよう多くの情報を提供する。 7 開かれた学校づ 9 家庭、地域社会に積極的に くりに努めてい 情報発信をしていますか。 ますか。 ⑪学校(通信制)のホームページを月2回以上更新す 最新の情報を提供するよう全教職員が心がける。 ®授業においてICT機器を活用した講座の割合が70% PC、書画カメラ等を適切に活用することにより、分かりやすい授 教育デジタル化 10 ICTを活用した指導を 以上である。 に努めています 行っていますか。 ⑨職員間の情報共有にオンラインを活用している。 オンラインで共有できる情報を精査し、職員会議や打合せの効率 11 ICTを活用した業務改善 を行っていますか。 応じて評価対象を加える。